

中干しは、遅くとも 田植30日後までに開始！

長岡農業普及指導センター
稲作情報 No. 3

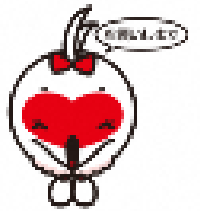
代表電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

生育概況と栽培管理のポイント

- 5月は比較的高温で推移したことから、植え傷みは少なく、5月25日には、5月上旬植えて分げつの発生が確認されました。
- 5月30日からの1か月予報（5/28発表）では、向こう1か月の気温は高い見込みとなっており、茎数の急増が予想されます。

中干しが遅れないよう、注意しましょう！



1 中干し・溝切りは遅れずに！

(1) 中干しの効果

- ① 過剰な分げつを抑え、適正な生育量で品質の向上に役立ちます。
- ② 下位節間の伸びを抑え、倒伏を防止します。
- ③ 土壌に酸素を供給し、根を元気にします。
- ④ 収穫時にコンバインで作業しやすいよう、地固めをします。

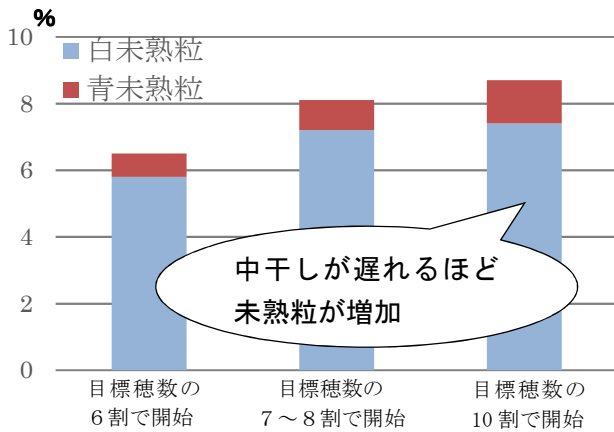


図1 目標穂数に対する中干し開始時期と未熟粒の割合

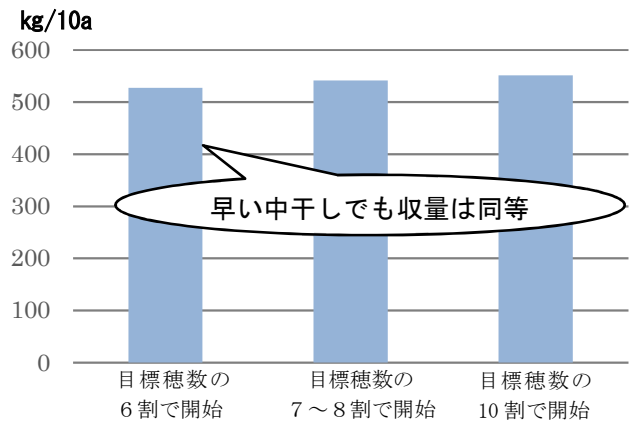


図2 目標穂数に対する中干し開始時期と精玄米重 (平成26・27年作研コシヒカリ)

(2) コシヒカリは目標穂数の7割の茎数になったら中干し開始

表1 目標穂数と中干し開始時期のめやす(コシヒカリ)

目標穂数 (本/m ²)	植付株数 (株/坪)	中干し開始めやす (株当たり茎数)
360	50株	17本
	60株	14本
340	50株	16本
	60株	13本

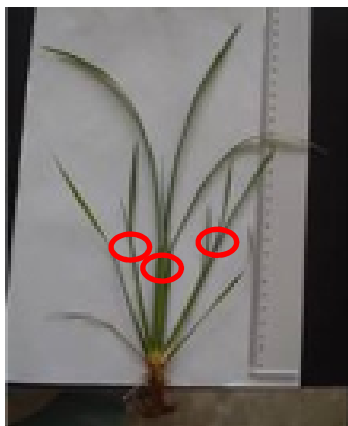
- 中干しが遅れると、籾数過剰の要因となり、品質低下につながります。中干し・溝切りは遅れないようにしましょう。
- 過剰生育地域では目標穂数の6~7割の茎数に達したら実施してください。

表2 目標穂数と中干し開始時期のめやす(コシヒカリ以外)

品 種	目標穂数 (本/m ²)	植付株数 (株/坪)	中干し開始めやす (株当たり茎数)
こしいぶき	400	60	15~17
ゆきん子舞 (多収栽培)	470		21
つきあかり (多収栽培)	400		18
あきだわら (多収栽培)			

多収栽培の中干しは、コシヒカリよりやや弱めで、梅雨入り前に地耐力がつく程度とし、茎数を確保する。

各ほ場の平均的な株の茎数を数えましょう。



- ・分げつは葉の内側（主茎側）から出てきます。
- ・写真は、分げつ2本+主茎で、茎数3本。4本/株植えだと12本/株となります。



ウチは、目標穂数 360 本/m²で、60 株セットだから、今 12 本/株だと、2 日後が中干し適期なんだね



中干し適期の田植 30 日後ころは、1 日 1 株あたり約 1 本以上の茎数が増加するので、中干しは遅れずに

表3 1 株茎数と中干し開始適期までの日数のめやす

目標穂数 (本/m ²)	植付株数 (株/坪)	中干し開始めやす (株あたり茎数)	中干し適期までの日数のめやす											
			1 株あたり平均茎数(本/株)											
			9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
360	50株	17本	8日後	6日後	5日後	4日後	3日後	2日後	1日後	本日	本日	1日前	2日前	2日前
	60株	14本	6日後	4日後	3日後	2日後	1日後	本日	1日前	2日前	3日前	3日前	4日前	5日前
340	50株	16本	7日後	6日後	4日後	3日後	2日後	1日後	1日後	本日	1日前	2日前	2日前	3日前
	60株	13本	5日後	3日後	2日後	1日後	本日	1日前	2日前	3日前	3日前	4日前	5日前	5日前

管内コシヒカリ生育調査定点 (H23~R1) の、5/30~6/20 間の移植後日数と茎数から試算

茎数を確認できない場合は、田植 30 日後までに中干しを開始しましょう！

中干し適期は、条の先まで見通せる時期



図3 中干し開始時期のめやす

(3) 中干しは田面に小ヒビが入り、足跡が付いて歩ける程度遅くとも出穂1か月前には終了

- 転作あとや土壌が肥沃な地帯、生育量が大きく倒伏する恐れのあるほ場では、早めに中干しを始め、強めに干しましょう。
- 中干しの終了時期が遅くなると、根域が縮小し、品質が低下する場合がありますので、遅くとも出穂期1か月前をめどに終了しましょう。

(4) 溝切りは確実に実施 ～ フェーン時の緊急かん水及び秋の排水に有効

- 溝切りは中干しの効果を高めるとともに、フェーン等の緊急時のかん水や秋の長雨による停滞水の排水を可能にします。
- 溝の間隔は約3m(10条に1本)程度、溝の深さは10cm以上とします。タテ溝とヨコ溝は連結し、必ず水口と水尻につなげましょう。

3 補植苗はすぐ処分 (いもち病の予防)

- 補植苗をほ場に放置すると、いもち病の伝染源となります。すみやかに処分しましょう。
- いもち病多発地や、わたぼうし・新之助等いもち病に弱い品種で箱施用剤を使用していない場合は、本田で必ず予防的な防除を6月2半旬(6月10日頃)までに実施しましょう。



4 ワキによる根腐れ対策には夜干しを実施

田植えの早いほ場ではワキの発生がみられます。根腐れによる生育停滞を防ぐため、「夜干し」又は「水の更新」を行いましょ

農作業中の熱中症に注意！ こまめな休憩と水分補給をしましょう！